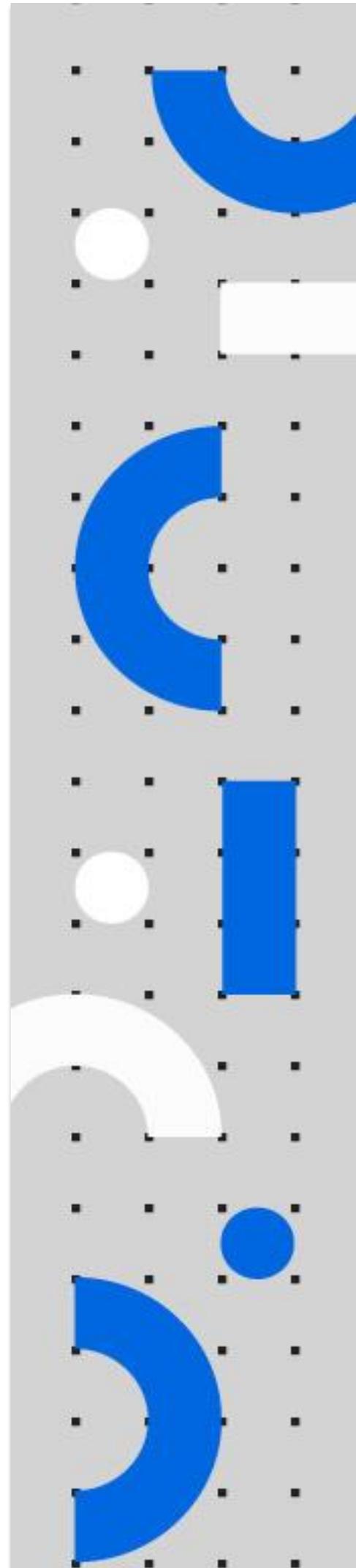


Azure 環境

UiPath Orchestrator

構築手順書 2019 LTS 版



目次

改訂履歴

構築手順書に関する留意事項

構成図

本手順で構成されるリソース一覧

構築手順

1. Azure signup
2. Marketplace を利用した Orchestrator デプロイ
3. OC にアクセス
4. HAA にアクセス
5. Azure Marketplace を利用した Robot デプロイ
6. デプロイしたロボットの確認
 - 6-1 “Unattended” もしくは “Development with Studio” をデプロイした場合
 - 6-2 “Attended” もしくは “NonProduction” をデプロイした場合
7. Tips (Web.config の編集方法)

WindowsAuthentication を有効化する方法

改訂履歴

Date	Version	Author	Description
2020 / 01 / 17	2.0	Yosuke Kajimoto (UiPath)	UiPath Orchestrator 2019.10.15
2020 / 03 / 31	2.1	Hiroataka Takehana (UiPath) Yosuke Kajimoto (UiPath)	Robot deploy
2020 / 05 / 29	2.2	Hiroataka Takehana (UiPath)	UiPath Orchestrator 2019.10.17

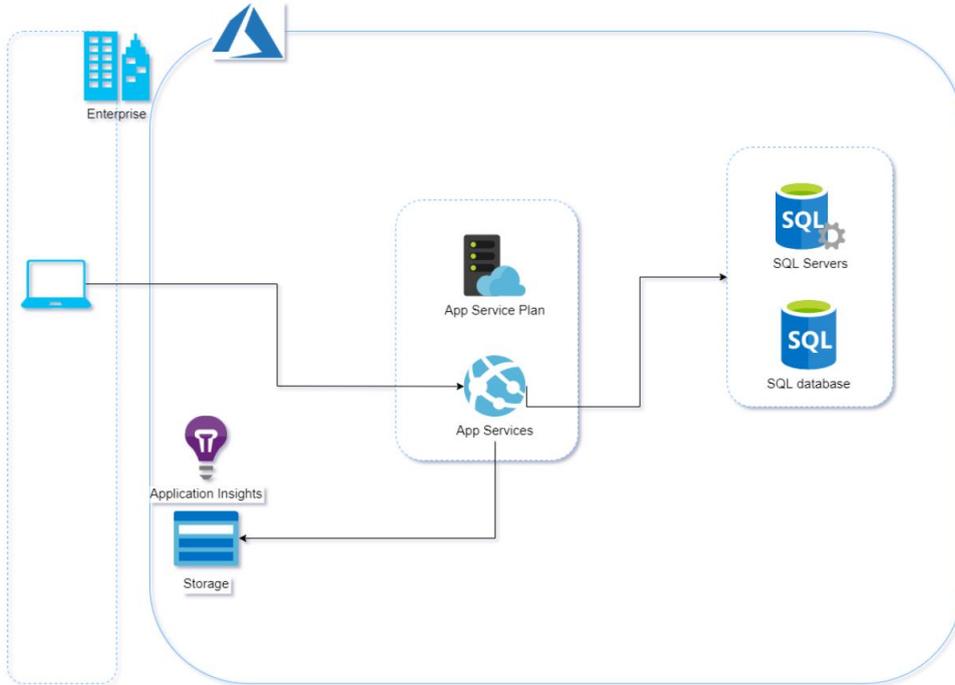
構築手順書に関する留意事項

本ドキュメントに記載されている ARM テンプレートは、事前の告知なく変更、
改変されることがございますので予めご了承ください。

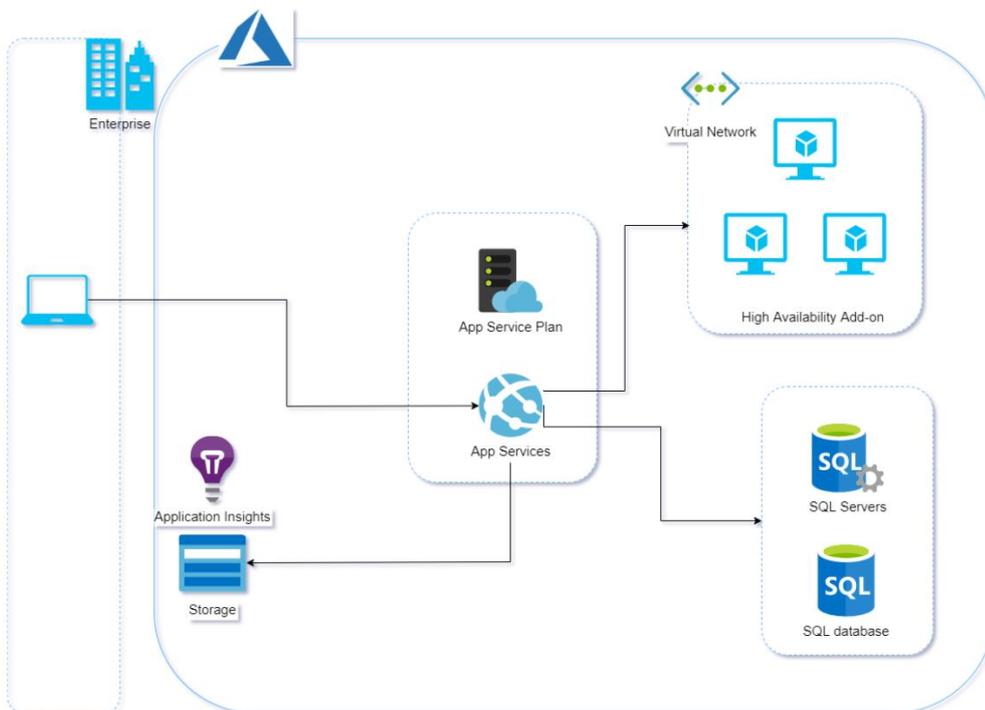
構成図

本ドキュメント通りに作業を行った場合に作成される環境の構成のイメージ図です。

シングル構成の場合



冗長構成の場合



本手順で構成されるリソース一覧

・Orchestrator:

リソース	リソースの種類の名前	サンプルリソース名
SQL Server/ SQL データベース	Microsoft.Sql/servers Microsoft.Sql/servers/firewallrules Microsoft.Sql/servers/databases	uipathazuredb uipathazuredb/AllowAllWindowsAzureIps uipathazuredb/uipathweb-db
App Service	Microsoft.Web/Sites Microsoft.Web/Sites/config Microsoft.Web/Sites/config Microsoft.Web/Sites/Extensions	uipathweb uipathweb/web uipathweb/connectionstrings uipathweb/MSDeploy
App Service プラン	Microsoft.Web/serverFarms	uipathweb-serviceplan
ストレージ アカウント	Microsoft.Storage/storageAccounts	uipathwebsc
Application Insights	Microsoft.insights/components	uipathweb-appin
以下は App Service で複数 VM の場合		
仮想マシン	Microsoft.Compute/virtualMachines	haa-master haa1 haa2
ネットワークインタフェース	Microsoft.Network/networkInterfaces	haa-master-nic haa-nic1 haa-nic2
ディスク	Microsoft.Compute/virtualMachines	haa-master_OsDisk_1_8a2e2127e6294f2d83edf19431b17c74
ネットワークセキュリティグループ	Microsoft.Network/networkSecurityGroups	haa-nsg
可用性セット	Microsoft.Compute/availabilitySets	HAAsset

パブリック IP アドレス ※HAA 動作確認のため手動 で追加した場合	Microsoft.Network/publicIPAdres ses	haa-master-pip
--	--	----------------

※Microsoft Azure Website 利用者が所有するカスタムドメイン(独自ドメイン名)を使って SSL 証明書を取得し、その証明書を Microsoft Azure Website で利用することも可能です。

※各リソースの定義及び、リソースの依存関係は下記を参照

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-resource-manager/resource-group-define-dependencies>

構築手順

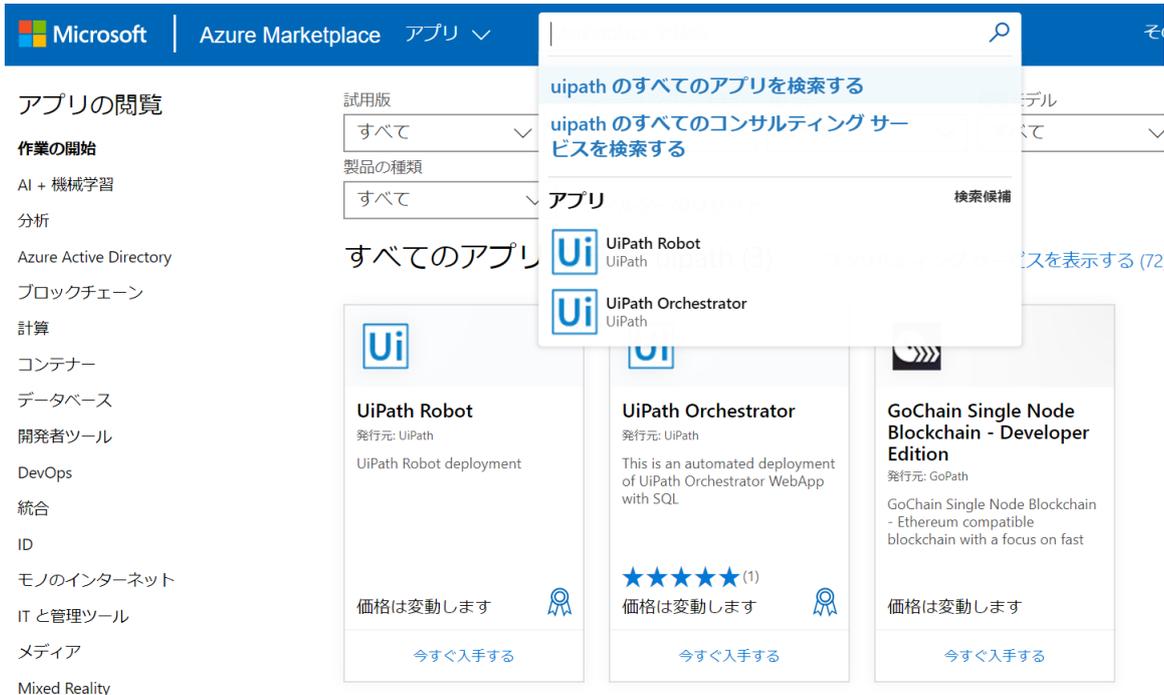
1. Azure signup

- a. <https://portal.azure.com> を開き、Microsoft Azure account が既にある場合は、Sign in を行い、無ければ新しくアカウントを作成します。

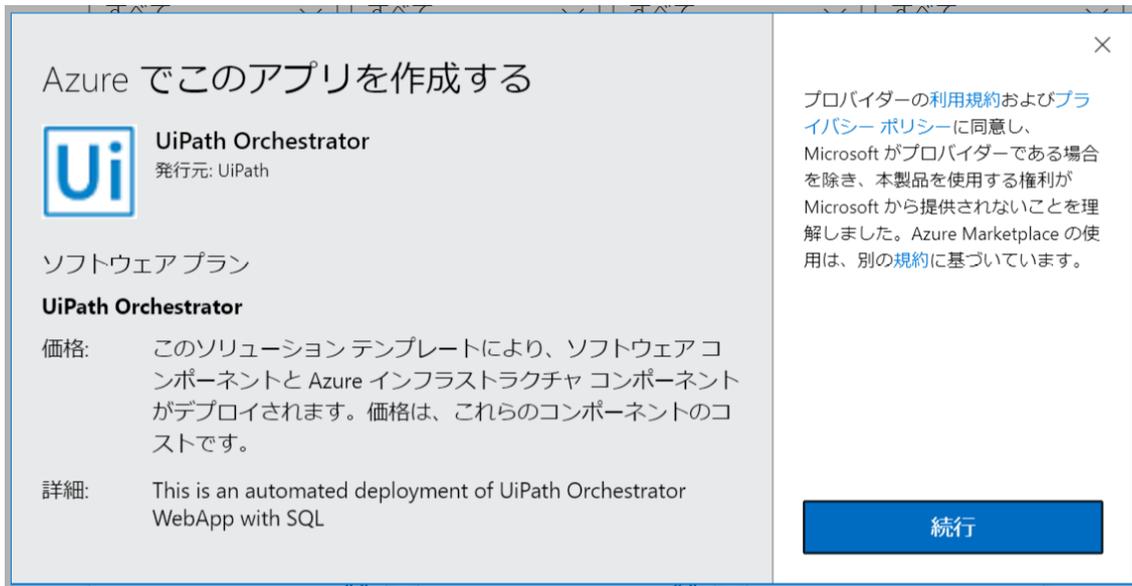


2. Marketplace を利用した Orchestrator デプロイ

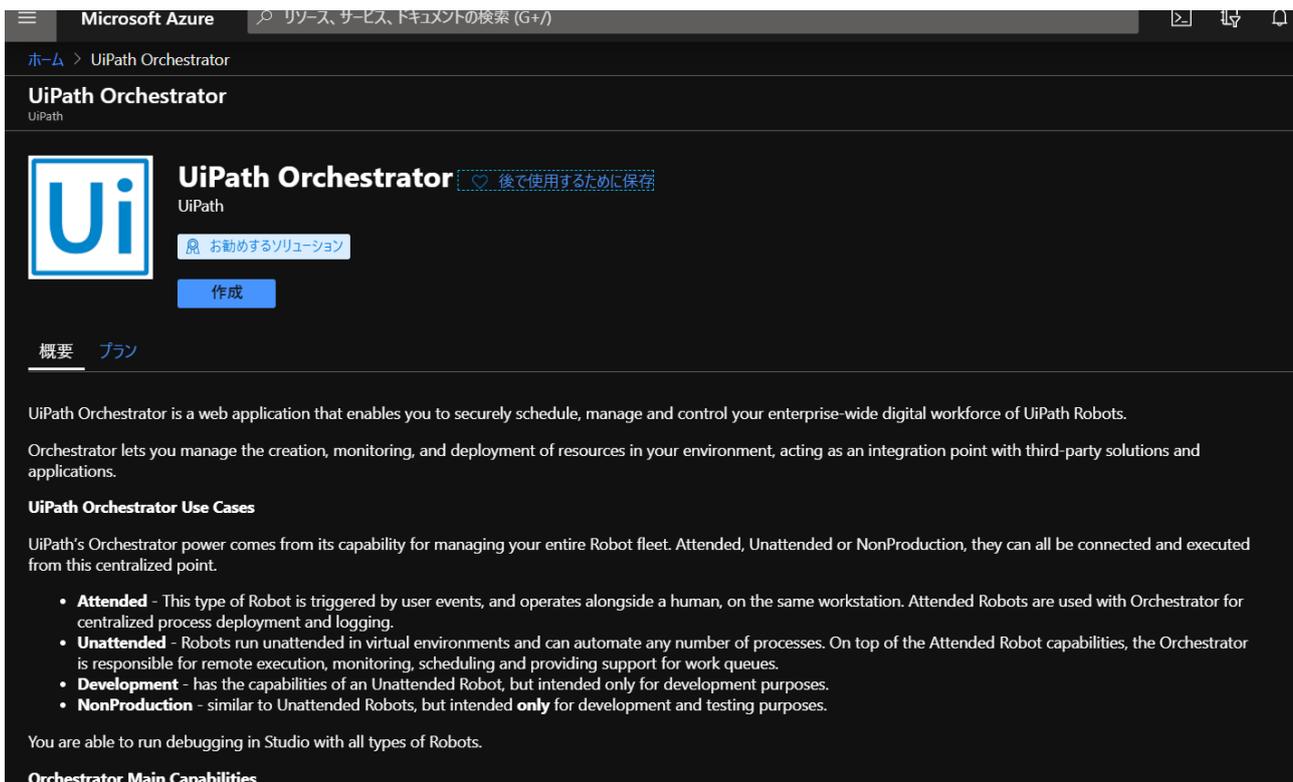
- a. <https://azuremarketplace.microsoft.com> にログインし、検索窓に“uipath”と入力します。



- b. UiPath Orchestrator の “今すぐ入手する” を押下します。
すると、下記のようなポップアップが現れるので、“続行” を押下します。



- c. Azure のポータル画面に遷移するので、問題なければ、“作成”ボタンを押下します。



d. 基本設定の構成を埋めて問題なければ、“OK” を押下します。

Microsoft Azure

ホーム > UiPath Orchestrator > UiPath Orchestrator の作成 > 基本

UiPath Orchestrator の作成 << ×

基本 □ ×

1 基本 >
基本設定の構成

2 HAA server configuration >
Configure HAA settings

3 Orchestrator SQL settings >
Configure Orchestrator SQL setti...

4 概要 >
UiPath Orchestrator

5 購入 >

Orchestrator name * ⓘ
uipathorchestrator

Orchestrator passphrase * ⓘ
uipathpass

Orchestrator version ⓘ
19.10.17

Orchestrator size based on total no. of connected robots ⓘ
Small

Number of Orchestrator instances. (10 max). * ⓘ
2

サブスクリプション
PoC

リソースグループ * ⓘ
PoC-Hirotaka-RG

新規作成

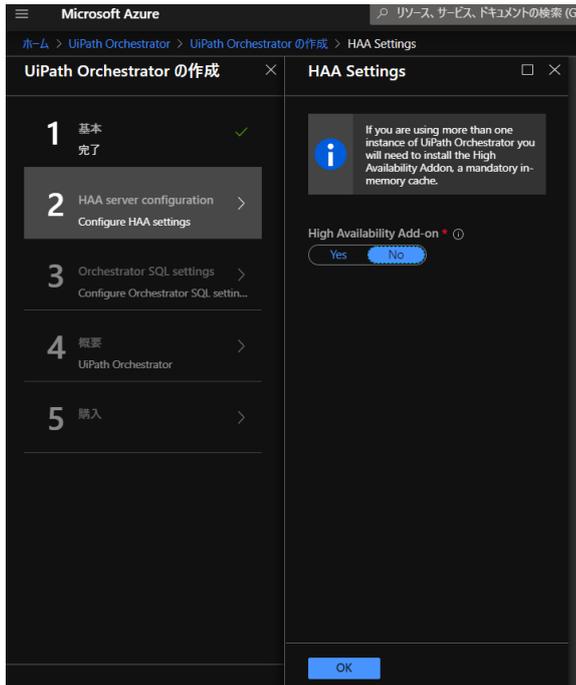
場所 *
(Asia Pacific) 東日本

OK

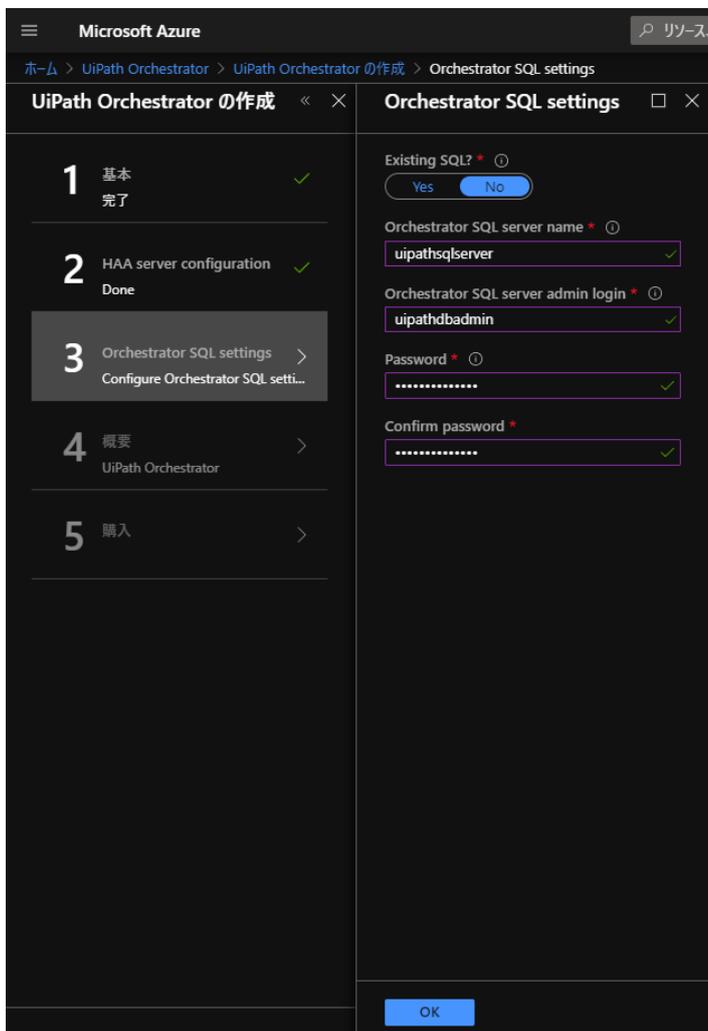
- e. HAA については、Orchestrator をマルチインスタンスで構成する場合に必須となります。前項における“Number of Orchestrator Instances”を 2 以上に設定した場合、HAA Settings をスキップすることは出来ません。項目を埋めて問題なければ、“OK” を押下します。

※ライセンスをお持ちの場合はここで入力してください。未入力の場合は 30 日以内にライセンス入力する必要があります。

※“Number of Orchestrator Instances”が 1 の場合のみ、HAA の構築は下記のようにスキップすることができます。



f. Orchestrator SQL Settings を埋めて問題なければ、“OK” を押下します。



g. 概要で検証に成功し、問題なければ、“OK”を押下します。

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > UiPath Orchestrator > UiPath Orchestrator の作成 > 概要

UiPath Orchestrator の作成 << ×

概要 □ ×

1 基本 完了 ✓

2 HAA server configuration 完了 ✓

3 Orchestrator SQL settings 完了 ✓

4 概要 UiPath Orchestrator >

5 購入 >

検証に成功しました

基本

サブスクリプション	PoC
リソース グループ	PoC-Hirotaka-RG
場所	東日本
Orchestrator name	uipathorchestrator
Orchestrator passphrase	uipathpass
Orchestrator version	19.10.17
Orchestrator size based on t...	Small
Number of Orchestrator inst...	2

HAA Settings

HAA Servers (VM) Admin Lo...	uipathhaaadmin
Password	*****
HAA admin email	hirotaka.takehana@uipath.com
Password	*****
High Availability Add-on Lice...	-
Virtual machine size	Standard D2s v3
Virtual network for HAA	PoC-Hirotaka-RG
HAA subnet	haa-subnet
HAA subnet アドレス プレフィッ...	10.0.0.0/24
Subnet used for Orchestrato...	haa-integration
Subnet used for Orchestrato...	10.0.1.0/24

Orchestrator SQL settings

Existing SQL?	No
Orchestrator SQL server name	uipathsqlserver
Orchestrator SQL server adm...	uipathdbadmin
Password	*****

OK テンプレートとパラメーターのダウンロード

h. 利用規約、プライバシーポリシーを一読し、問題なければ”作成” ボタンを押下します。

Microsoft Azure
リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > UiPath Orchestrator > UiPath Orchestrator の作成 > 作成

UiPath Orchestrator の作成 << ×	作成 □ ×
<div style="margin-bottom: 10px;"> <p>1 基本 完了 ✓</p> </div> <hr/> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>2 HAA server configuration Done ✓</p> </div> <hr/> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>3 Orchestrator SQL settings Done ✓</p> </div> <hr/> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>4 概要 UiPath Orchestrator ✓</p> </div> <hr/> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>5 購入 ></p> </div>	<p>UiPath Orchestrator 作成: UiPath 利用規約 プライバシー ポリシー</p> <p>このテンプレートをデプロイすると、テンプレートに指定されているさまざまな操作が実行されます。たとえば、Azure リソースや Marketplace サービスがデプロイされたり、デプロイ プロセスで指定した情報が関係者に送信されたりします。お客様は、テンプレートのテキストを確認して実行される操作やデプロイされるリソースまたはサービスを特定し、それらのリソースまたはサービスに関連する料金や法律条項を探して確認する必要があります。</p> <p>Azure リソースの現在の小売価格は、ここに記載されていますが、Azure サブスクリプションに適用可能なディスカウントが反映されていない可能性があります。</p> <p>Marketplace サービスの価格はここに記載されています。また、Marketplace サービスに関連する法律条項は Azure Portal に掲載されていることがあります。ただし、どちらもデプロイに先立って変更されることがあります。</p> <p>サブスクリプション クレジットも年額コミットメントの資金も、Microsoft 以外のサービスの購入に充てることはできません。これらの購入については別途請求されます。Marketplace のサービスに (Windows Server や SQL Server などの) Microsoft 製品が含まれる場合には、その製品はサードパーティではなく Microsoft によってライセンスが許諾されます。</p> <p>テンプレートのデプロイは、詳しい知識のあるユーザーのみを対象としています。このテンプレートによって実行される操作、デプロイされるリソースやサービス、またはそれらのリソースやサービスに関連する価格や法律条項がわからない場合は、このテンプレートをデプロイしないでください。</p> <p>利用規約</p> <p>[作成] をクリックすることで、お客様は (a) 上記の法律条項とプライバシーに関する声明のほか、このテンプレートの使用によってデプロイされる各 Marketplace サービスに関連する法律条項とプライバシーに関する声明 (があれば、それ) に同意し、(b) サービスの利用を停止するまでの間、Microsoft より、その利用に伴う料金 (適用される税を含む) が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同じ請求頻度で課金または請求されることを認め、かつ、(c) Microsoft がお客様の連絡先情報および取引の詳細を、サードパーティとしてサービスを販売する業者と共有する可能性があることに同意するものとします。Microsoft は、サードパーティのテンプレートによって実行される操作について、一切の責任を負いません。また、サードパーティの製品またはサービスに対する権利は提供しません。これ以外の条件については、Azure Marketplace 条件をご覧ください。</p> <p><input type="checkbox"/> Microsoft またはプロバイダーが本製品および関連製品に関してお客様に連絡できるように、お客様の連絡先情報を Microsoft が使用および共有することを許可します。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 作成 </div>

i. 作成ボタンを押下すると、デプロイが開始します。

デプロイが完了すると、結果が通知タブより確認できます。

通知の“uipath-xxx.uipath_orchestrator_automated_depl-xxx”(xxx はデプロイごとに異なります)よりデプロイしたリソースの概要が確認できます。

リソース	種類	状態	操作の詳細
uipathsqlserver-13tan4gqxk2/uipathorchestrator3	Microsoft.Sql/servers/databases	Created	操作の詳細
uipathsqlserver-13tan4gqxk2/AllowAllWindowsAz	Microsoft.Sql/servers/firewallrules	OK	操作の詳細
haa-master	Microsoft.Compute/virtualMachines	OK	操作の詳細
haa-nic2	Microsoft.Network/networkInterfaces	OK	操作の詳細
haa-master-nic	Microsoft.Network/networkInterfaces	OK	操作の詳細
haa-nic2	Microsoft.Network/networkInterfaces	Created	操作の詳細
haa-nic1	Microsoft.Network/networkInterfaces	OK	操作の詳細
haa-nic1	Microsoft.Network/networkInterfaces	Created	操作の詳細
haa-master-nic	Microsoft.Network/networkInterfaces	Created	操作の詳細

最新の情報に更新

デプロイ名: uipath-5054924.uipath_orchestrator_automated_depl-20... 開始時刻: 2020/5/21 11:03:44
 サブスクリプション: PoC 相関 ID: 9ca8f967-cedf-4298-aa79-bb3c7d5c2243
 リソースグループ: PoC-Hirotaka-RG

次の手順

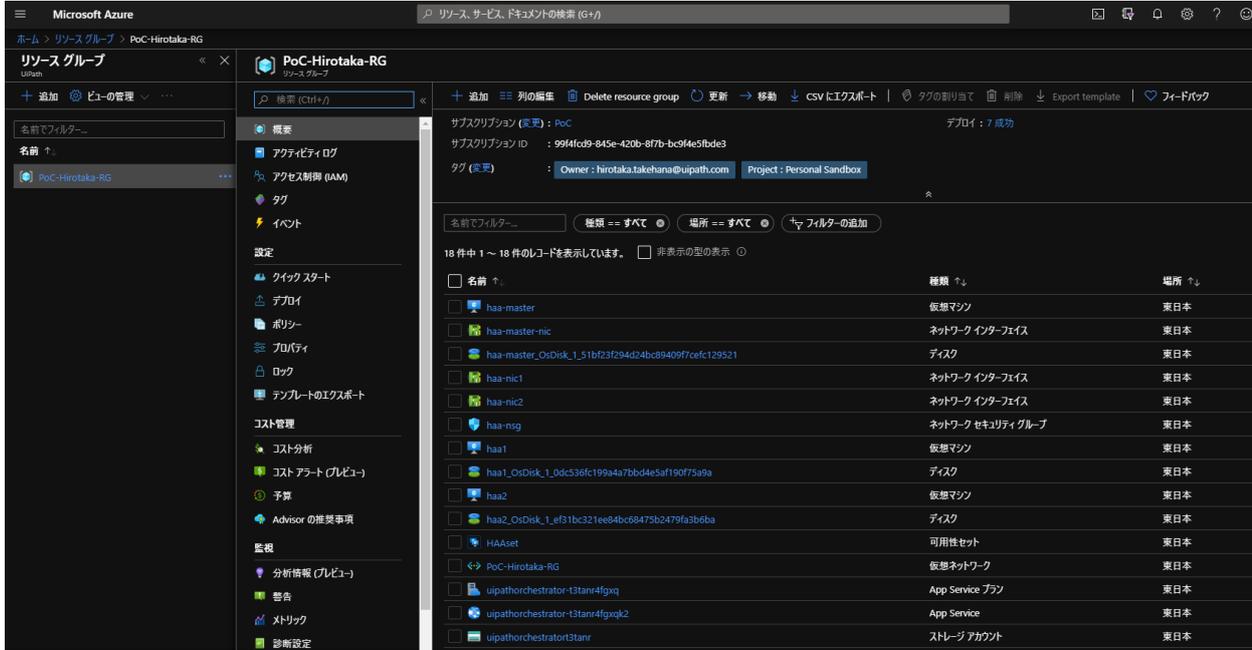
リソースに移動

これで Azure Marketplace を利用した Orchestrator デプロイの一連の流れは終了です。

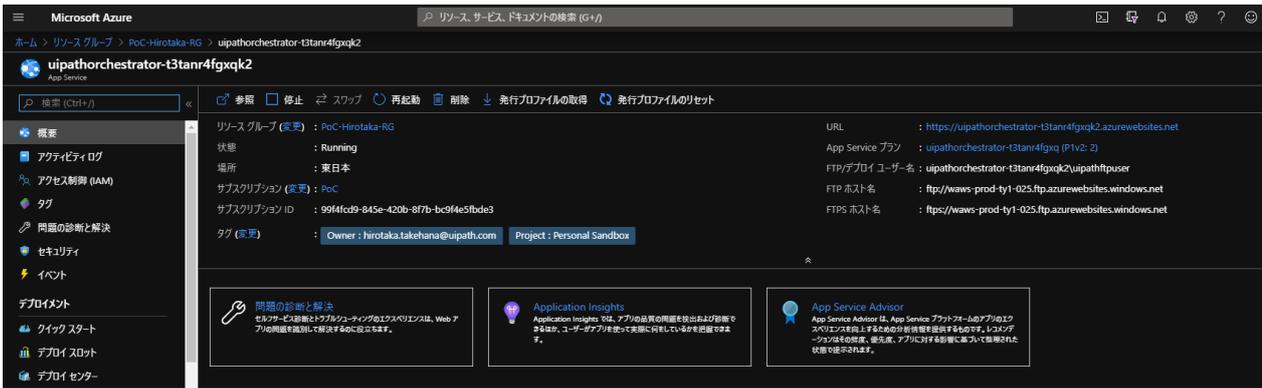
3. OC にアクセス

デプロイが完了したら OC にアクセスします。

- a. ホーム > リソースグループ > 対象のリソースグループ > 対象の Apps サービス名 を押下します。



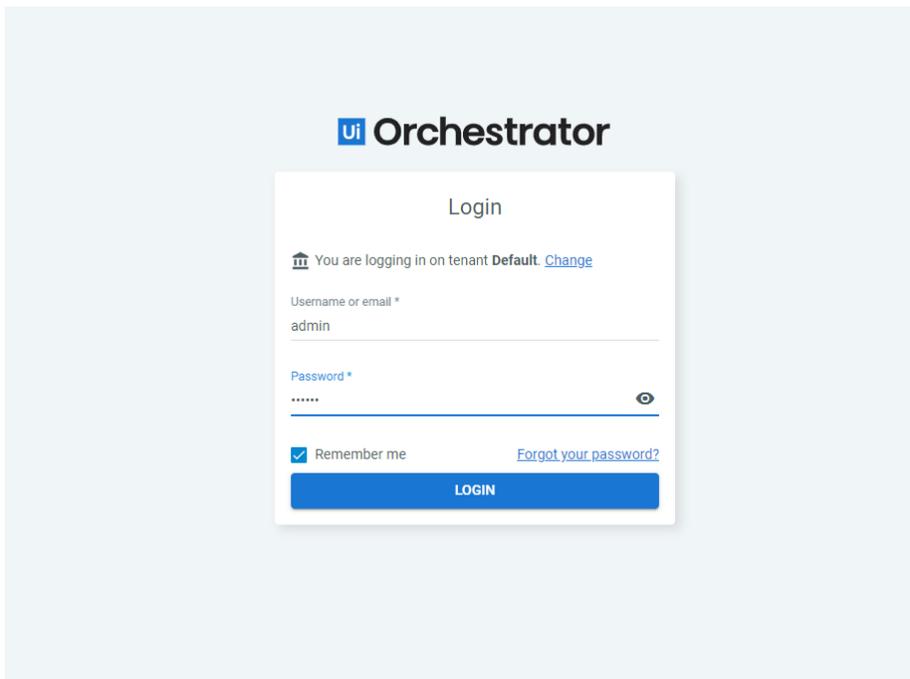
- b. Web apps サービスの詳細が表示されるので、URL の欄に表示される Orchestrator の URL(今回は <https://uipathorchestrator-t3tanr4fgxqk2.azurewebsites.net>)を押下し、Orchestrator にアクセスします。



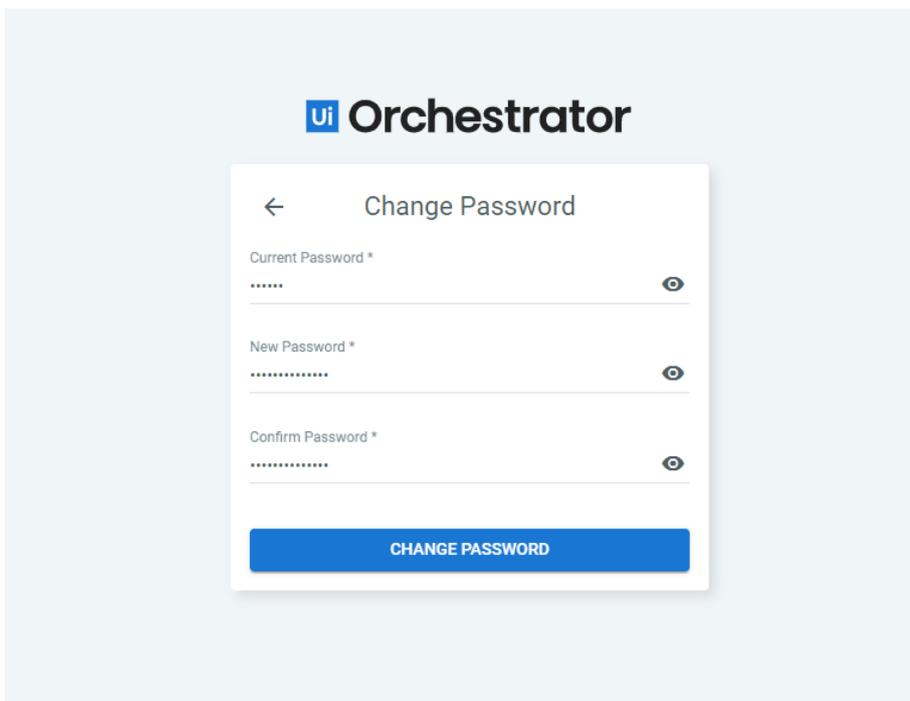
c. Orchestrator のログインにて管理者アカウントで正常にログインできることを確認します。

Orchestrator のデフォルト管理者ユーザーおよびパスワードは次の通りです：

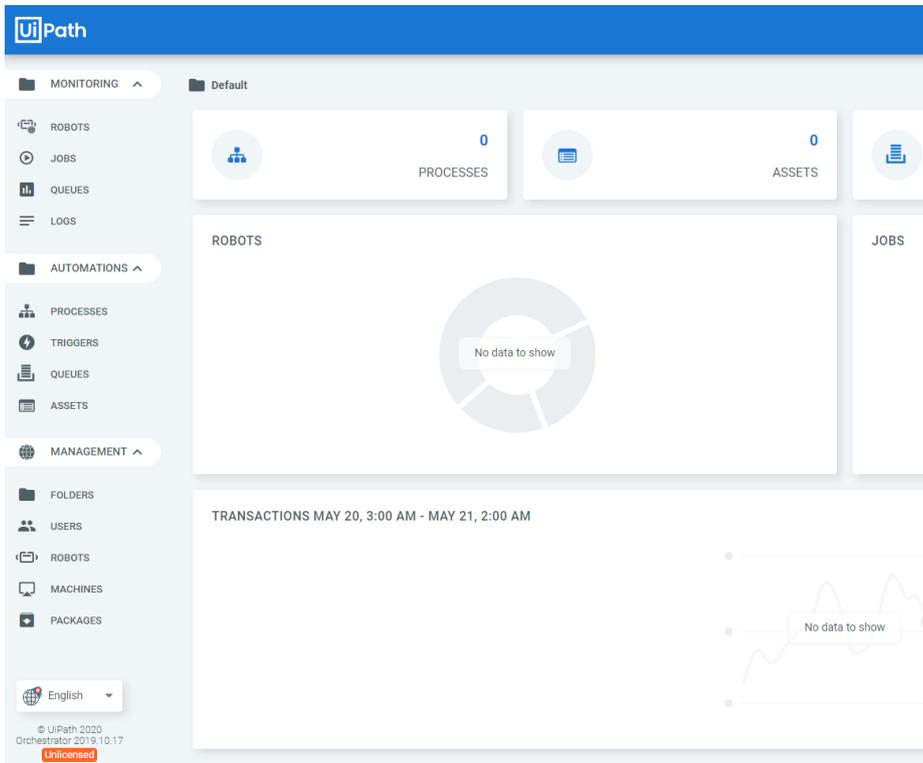
- Username: admin
- Password: 890iop



d. 初回ログイン時にパスワードの変更を求められるので、任意のパスワードに変更します。



e. ログインし、左下の表記から指定したバージョンになっている事を確認します。



以下を参考に、Orchestrator に適切なライセンスファイルをアップロードしてください。

(参考) <https://www.uipath.com/ja/resources/knowledge-base/license-orchestrator>

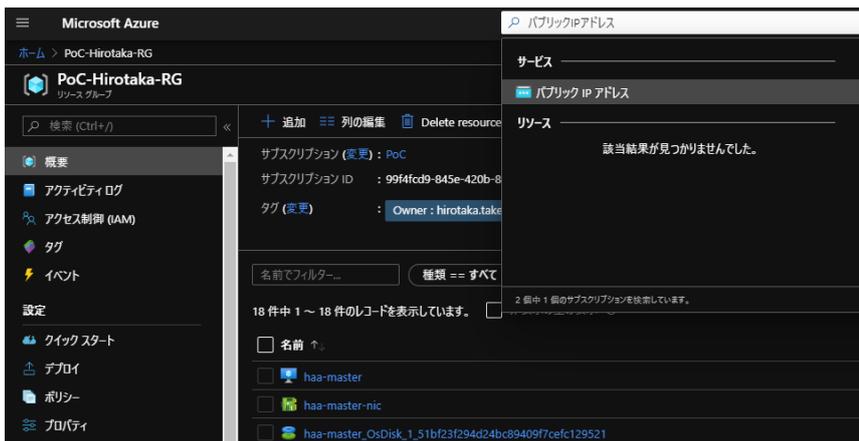
4. HAA にアクセス

a. リソースグループ内の HAA 用のマスターノードにアクセスします。

HAA 用の仮想マシンは、デフォルトではパブリック IP アドレスが割り当てられていません。

本手順では、HAA の動作確認のために、HAA-Master の NIC にパブリック IP アドレスを割り当てます。

Azure ポータルの検索窓から“パブリック IP アドレス”を検索し、選択します。

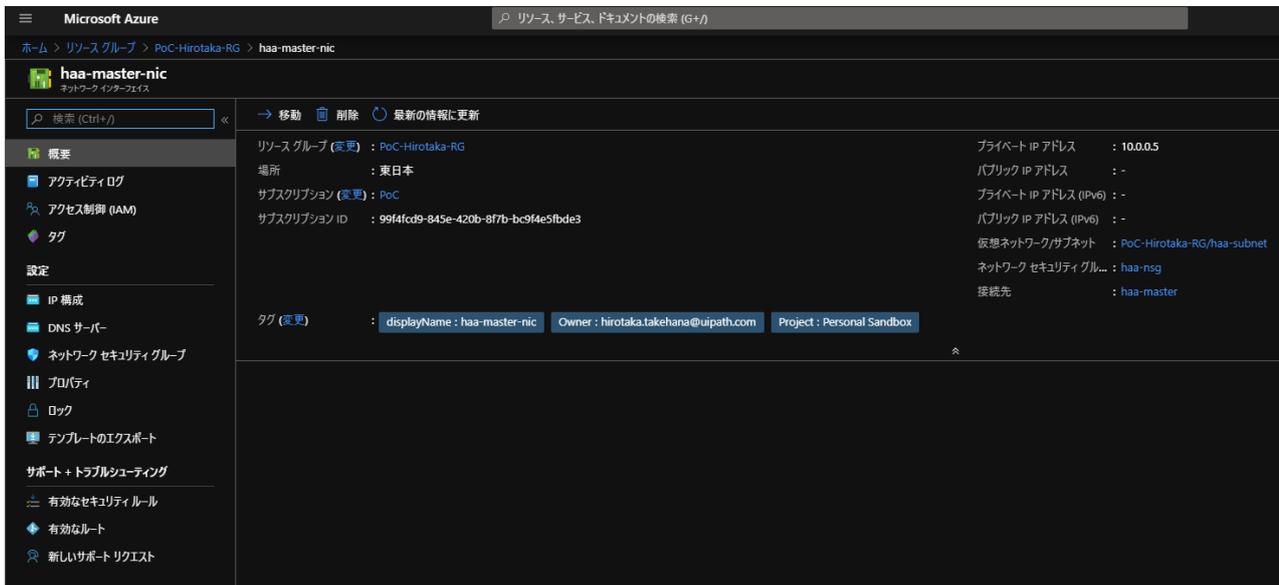


パブリック IP アドレスの作成に進みます。

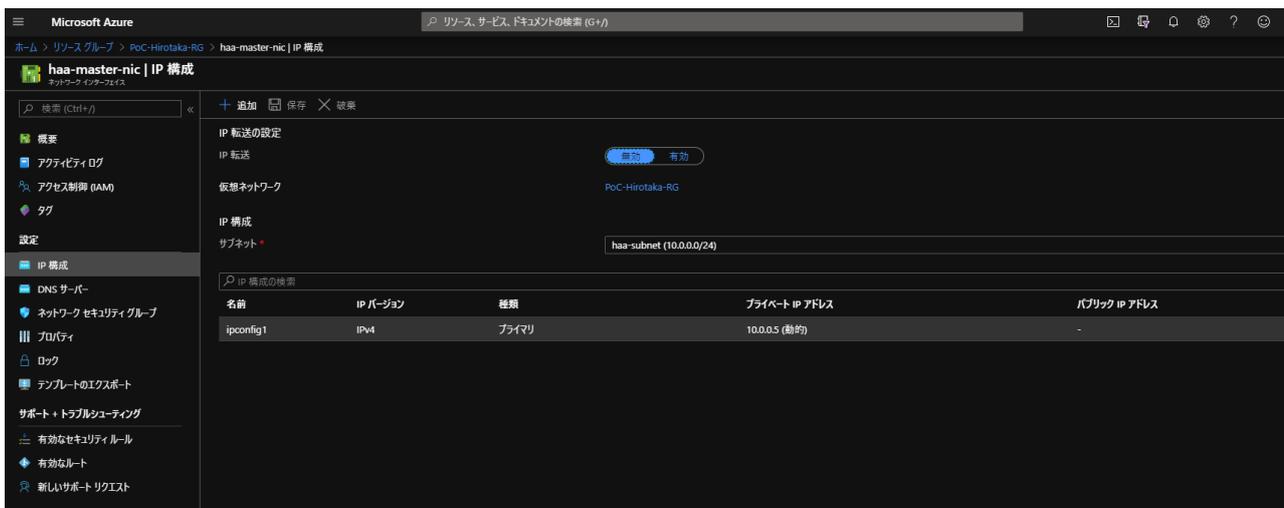


適切な値を入力し、作成を押下します。

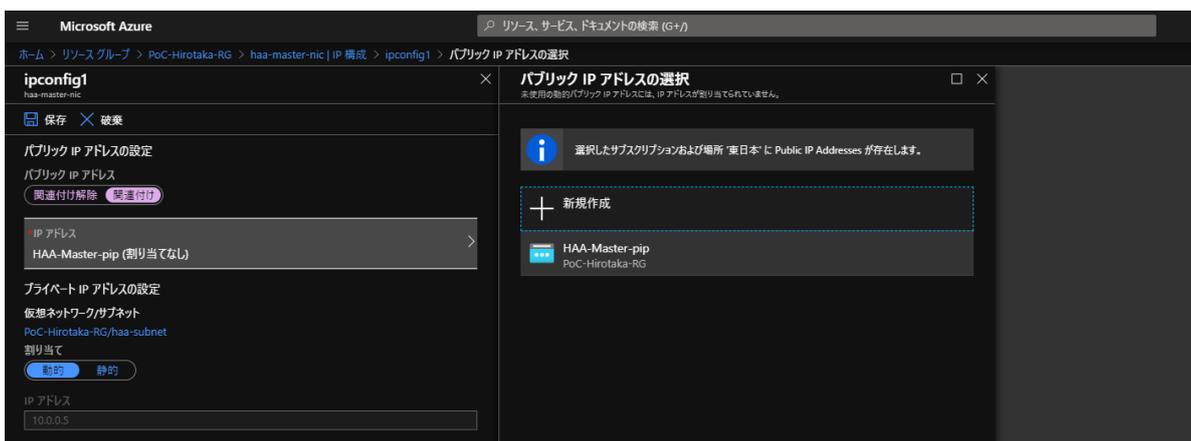
パブリック IP アドレスのデプロイが完了したら、リソースグループ内の“haa-master-nic”を選択します。左側リストの“IP 構成”を押下します。



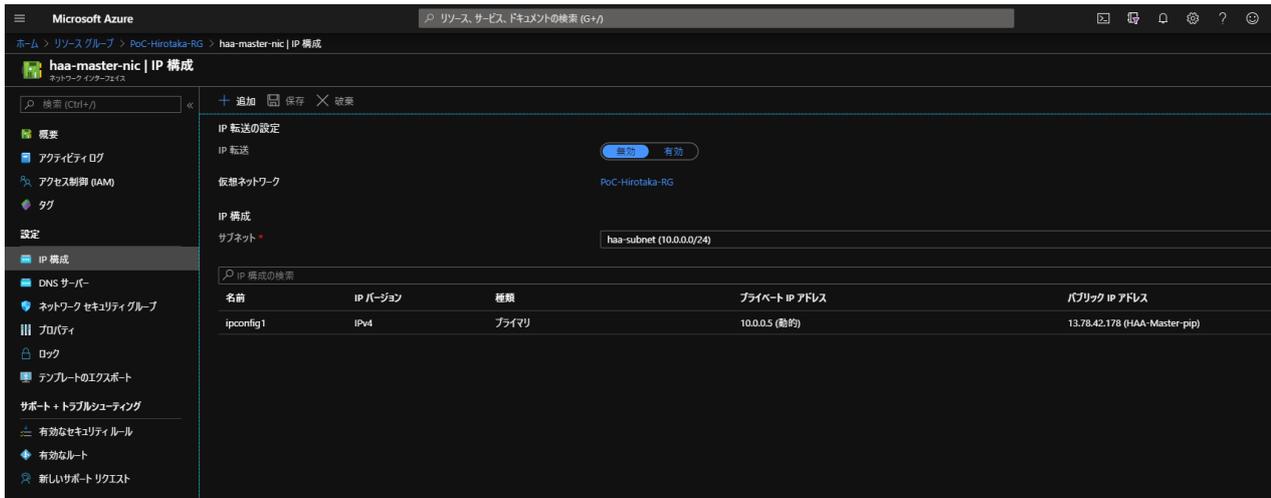
ipconfig1 を押下します。



パブリック IP アドレスの関連付けをオンにします。IP アドレスから、作成したパブリック IP アドレスを選択し、保存します。



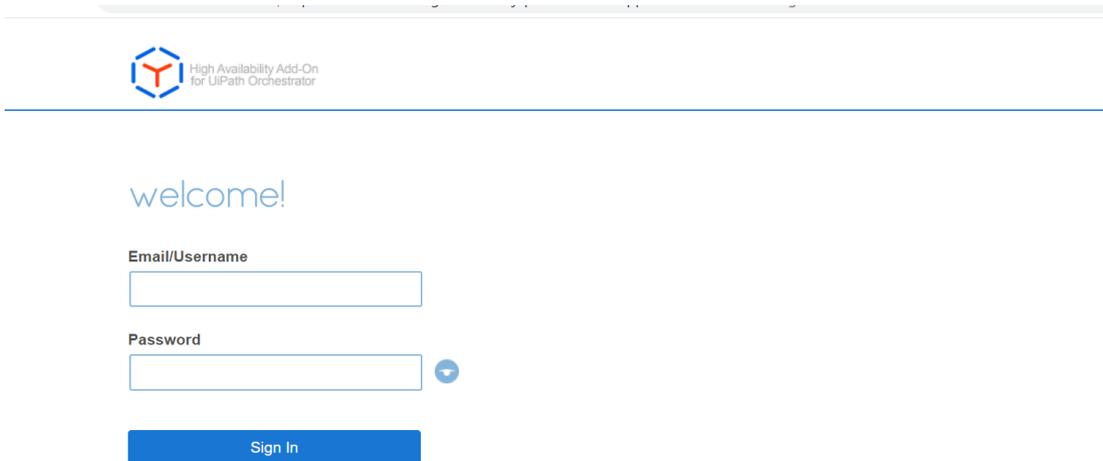
“haa-master-nic”の IP 構成から、パブリック IP アドレスが割り当てられていることを確認します。



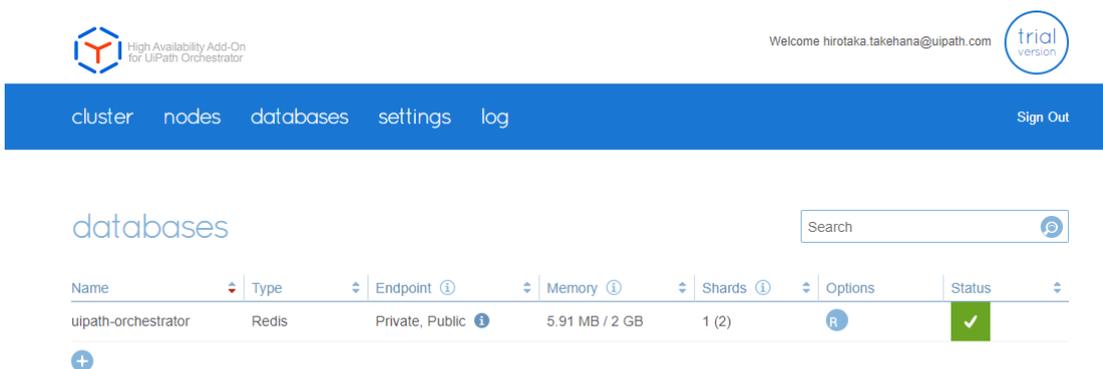
IP アドレスを確認したら下記 URL にアクセスします。（上記例では 13.78.42.178 となっています）

https://[IP アドレス]:8443

下記の画面が表示されるので OC デプロイ時に設定した HAA 用の Credential でログインします。



ログインすると下記のような画面に遷移します。各タブから、データベース、クラスタ、ノード等のステータス確認が可能です。



nodes

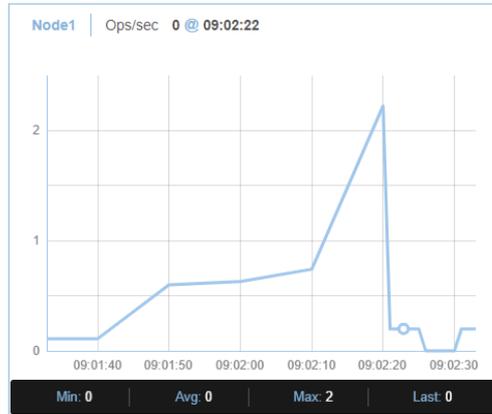
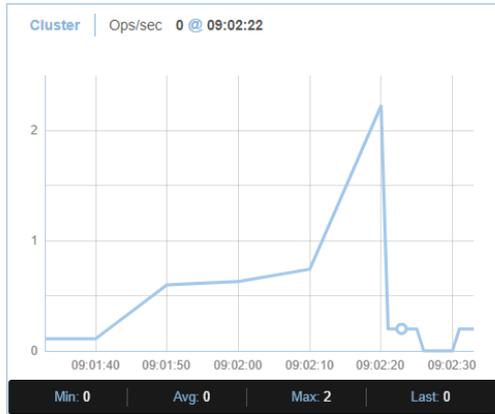
Node ID / IP Address	Shards	Memory ⓘ	Persistent storage ⓘ	CPU ⓘ	Network ⓘ	Status
node: 1 / 10.0.0.5	1	2.03 GB / 7.62 GB	1.22 GB / 7.99 GB	11.50%	20.94 KB / 65.75 KB	✓
node: 2 / 10.0.0.4	1	1.65 GB / 7.62 GB	1.26 GB / 7.99 GB	3.50%	39.2 KB / 12.37 KB	✓
node: 3 / 10.0.0.6	0	1.64 GB / 7.62 GB	1.26 GB / 7.99 GB	3.50%	57.22 KB / 25.71 KB	✓

cluster: uipath.cluster



metrics configuration

Minute 5 Minutes Hour Day Week Month Year



5. Azure Marketplace を利用した Robot デプロイ

<https://azuremarketplace.microsoft.com> にログインし、検索窓に“uipath”と入力します。

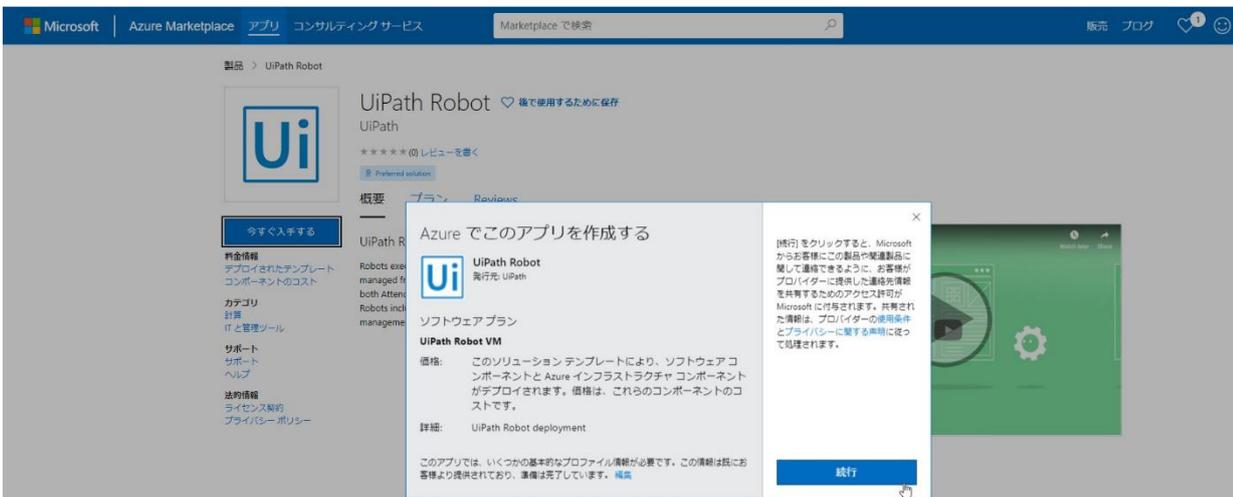
検索結果の“UiPath Robot”を押下します。



UiPath Robot の概要ページが表示されるので、問題がなければ “今すぐ入手する” を押下します。



“続行” を押下します。



“1. 基本設定の構成”に必要な情報を入力し、問題なければ、“OK”を押下します。

The screenshot shows the 'Microsoft Azure' portal interface for creating a 'UiPath Robot'. The breadcrumb trail is: ホーム > Marketplace > UiPath Robot > UiPath Robot の作成 > 基本. The main window is titled 'UiPath Robot の作成' and has a '基本' (Basic) tab selected. On the left, a navigation pane shows five steps: 1. 基本 (Basic), 2. Orchestrator Connection Information, 3. Virtual Machine Settings, 4. 概要 (Summary), and 5. 購入 (Purchase). The '基本' step is highlighted. The main content area contains the following configuration fields:

- Virtual Machine name ***: uipathrobot
- Username ***: uipathadmin
- Password ***: [Redacted]
- Confirm password ***: [Redacted]
- Number of virtual machines with Robots to be created. ***: 1
- サブスクリプション**: Visual Studio Professional
- リソースグループ ***: (新規) uipath-robot (with a link for '新規作成')
- 場所 ***: (Asia Pacific) 東日本

An 'OK' button is located at the bottom of the configuration area.

“2. Orchestrator Connection Info” に必要な情報を入力し、問題なければ、“OK” を押下します。

The screenshot displays the 'OrchestratorLoginInfo' configuration page in the Microsoft Azure portal. The left sidebar shows a progress indicator with five steps: 1. 基本 完了 (Basic Completed), 2. Orchestrator Connection Info (Configure Orchestrator URL and ...), 3. Virtual Machine Settings (Configure the virtual machine's r...), 4. 概要 (Summary) (UiPath Robot), and 5. 購入 (Purchase). The main configuration area contains the following fields:

- Orchestrator URL * ⓘ: ✓
- Orchestrator admin account * ⓘ: ✓
- Password * ⓘ: ✓
- パスワードの確認 * ⓘ: ✓
- Orchestrator Tenant Name * ⓘ:
- Robot type * ⓘ: ✓
- Robot Version * ⓘ: ✓

An 'OK' button is located at the bottom of the configuration area.

“3. Virtual Machine Settings” に必要な情報を入力し、問題なければ、“OK” を押下します。

The screenshot displays the 'Virtual Machine Settings' configuration page in the Microsoft Azure portal. The page is divided into two main sections: a left sidebar and a main configuration area.

Left Sidebar (Progress List):

- 1 基本 完了 (Completed)
- 2 Orchestrator Connection In... Done
- 3 Virtual Machine Settings** (Selected, with sub-item 'Configure the virtual machine's r...')
- 4 概要 UiPath Robot
- 5 購入

Main Configuration Area (Virtual Machine Settings):

- Virtual machine size *** ⓘ: 1 x Standard B2s (2 vcpu 数、4 GiB のメモリ). Includes a link to 'サイズを変更します'.
- *Public IP Address for the VM** ⓘ: (新規) uipathrobot-ip
- DNS Prefix for the public IP Address *** ⓘ: uipathrobot-3346b65e9d (Selected), with domain japaneast.cloudapp.azure.com.
- *Virtual network** ⓘ: (新規) VirtualNetwork
- *Subnets** ⓘ: サブネット構成の確認

An 'OK' button is located at the bottom of the configuration area.

“4. 概要” で検証に成功することを確認。問題なければ、“OK” を押下します。

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > Marketplace > UiPath Robot > UiPath Robot の作成 > 概要

UiPath Robot の作成

- 1 基本 ✓
完了
- 2 Orchestrator Connection In... ✓
Done
- 3 Virtual Machine Settings ✓
Done
- 4 概要 >
UiPath Robot
- 5 購入 >

概要

i 検証に成功しました

基本	
サブスクリプション	Visual Studio Professional
リソース グループ	uipath-robot
場所	東日本
Virtual Machine name	
Username	uipathadmin
Password	*****
Number of virtual machines ...	1
OrchestratorLoginInfo	
Orchestrator URL	https://uipathorchestrator-t3tanr4fgxqk2.azurewebsites.net
Orchestrator admin account	admin
Password	*****
Orchestrator Tenant Name	default
Robot type	Development with Studio
Robot Version	19.10.4
Virtual Machine Settings	
Virtual machine size	Standard B2s
Public IP Address for the VM	uipathrobot-ip
DNS Prefix for the public IP ...	uipathrobot-3346b65e9d
Virtual network	VirtualNetwork
Subnet	Subnet-1
Subnet アドレス プレフィックス	10.1.0.0/24

OK
テンプレートとパラメーターのダウンロード

“5. 購入” で、利用規約、プライバシーポリシーを一読し、問題なければ “作成” ボタンを押下します。

Microsoft Azure
リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > Marketplace > UiPath Robot > UiPath Robot の作成 > 作成

UiPath Robot の作成

- 1
基本
完了
✓
- 2
Orchestrator Connection In...
Done
✓
- 3
Virtual Machine Settings
Done
✓
- 4
概要
UiPath Robot
✓
- 5
購入
>

作成

UiPath Robot
作成: UiPath
[利用規約](#) | [プライバシー ポリシー](#)

このテンプレートをデプロイすると、テンプレートに指定されているさまざまな操作が実行されます。たとえば、Azure リソースや Marketplace サービスがデプロイされたり、デプロイ プロセスで指定した情報が関係者に送信されたりします。お客様は、テンプレートのテキストを確認して実行される操作やデプロイされるリソースまたはサービスを特定し、それらのリソースまたはサービスに関連する料金や法律条項を探して確認する必要があります。

Azure リソースの現在の小売価格は、ここに記載されていますが、Azure サブスクリプションに適用可能なディスカウントが反映されていない可能性があります。

Marketplace サービスの価格はここに記載されています。また、Marketplace サービスに関連する法律条項は Azure Portal に掲載されていることがあります。ただし、どちらもデプロイに先立って変更されることがあります。

サブスクリプション クレジットも年額コミットメントの資金も、Microsoft 以外のサービスの購入に充てることはできません。これらの購入については別途請求されます。Marketplace のサービスに (Windows Server や SQL Server などの) Microsoft 製品が含まれる場合には、その製品はサード パーティではなく Microsoft によってライセンスが許諾されます。

テンプレートのデプロイは、詳しい知識のあるユーザーのみを対象としています。このテンプレートによって実行される操作、デプロイされるリソースやサービス、またはそれらのリソースやサービスに関連する価格や法律条項がわからない場合は、このテンプレートをデプロイしないでください。

利用規約

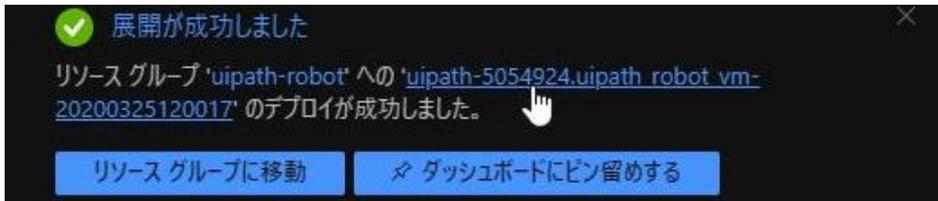
[作成] をクリックすることで、お客様は (a) 上記の法律条項とプライバシーに関する声明のほか、このテンプレートの使用によってデプロイされる各 Marketplace サービスに関連する法律条項とプライバシーに関する声明 (があれば、それ) に同意し、(b) サービスの利用を停止するまでの間、Microsoft より、その利用に伴う料金 (適用される税を含む) が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同じ請求頻度で課金または請求されることを認め、かつ、(c) Microsoft がお客様の連絡先情報および取引の詳細を、サードパーティとしてサービスを販売する業者と共有する可能性があることに同意するものとします。Microsoft は、サードパーティのテンプレートによって実行される操作について、一切の責任を負いません。また、サードパーティの製品またはサービスに対する権利は提供しません。これ以外の条件については、[Azure Marketplace 条件](#)をご覧ください。

作成

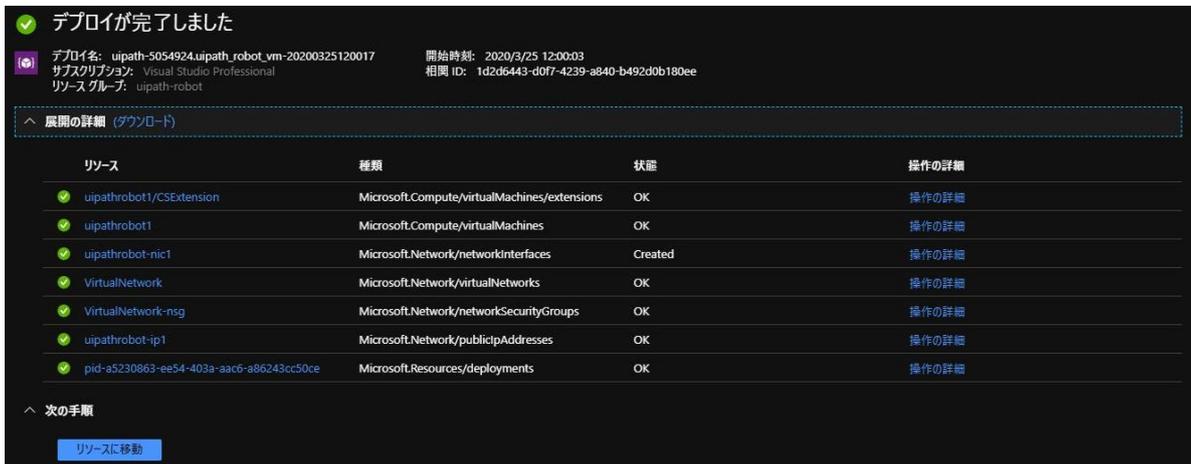
作成ボタンを押下すると、デプロイが開始します。通知タブよりデプロイの状況確認が可能です。



デプロイが完了すると、通知からデプロイしたリソースの概要が確認可能です。



デプロイが完了しました。



6. デプロイしたロボットの確認

デプロイが完了後、仮想マシンにアクセスします。

ホーム→リソースグループ→対象リソースグループ(今回は uipath-robot)→仮想マシン(今回は uipathrobot1) を押下します。



接続 → RDP を押下します。



デプロイ時に指定したユーザー名/パスワードで、RDP 接続します。



6-1 “Unattended” もしくは “Development with Studio” をデプロイした場合

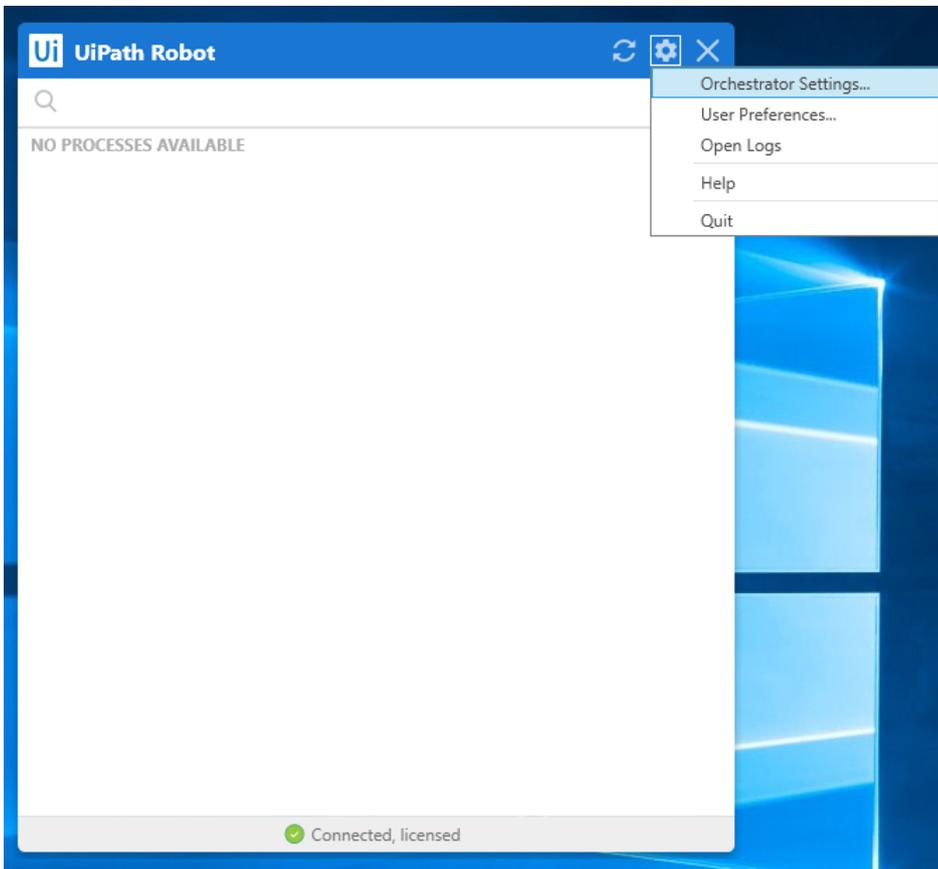
対象の Orchestrator と自動接続されます。

(ロボットをデプロイする前に、Orchestrator に必要なライセンスをアクティベートしておくことが前提となります。)

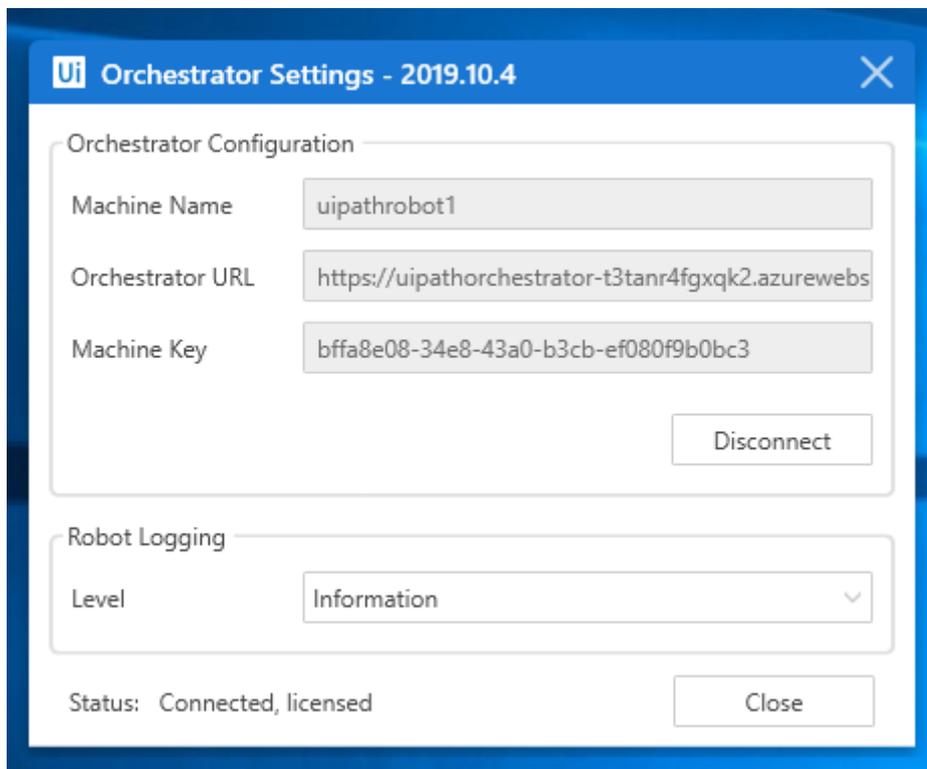
タスクトレイにあるロボットトレイを開きます。



右上の歯車マークから、“Orchestrator Settings” を開きます。



Status が “Connected, licensed” となっていることを確認します。
デプロイ時に設定した Orchestrator URL と接続されています。



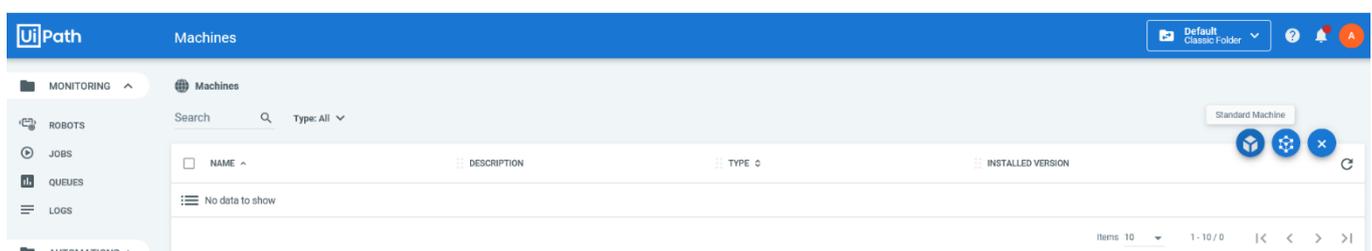
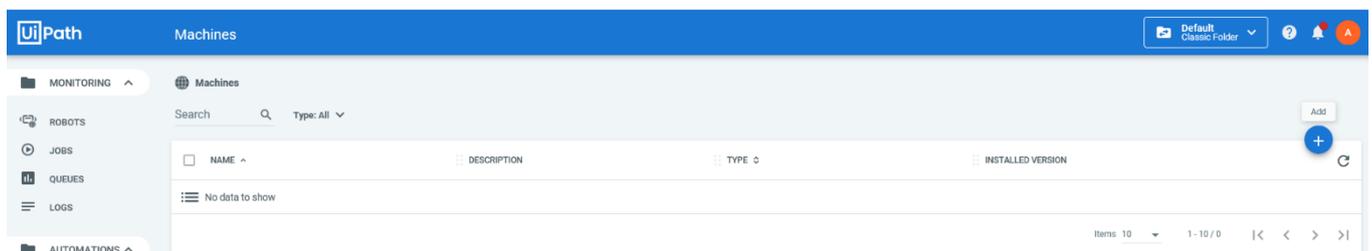
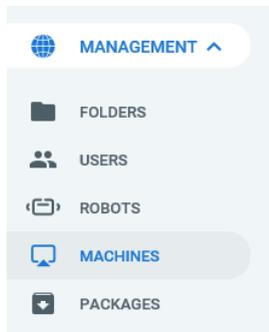
6-2 “Attended” もしくは “NonProduction” をデプロイした場合

対象の Orchestrator と自動接続されません。そのため、手動で Orchestrator への接続設定を行います。

Orchestrator にログインします。

The image shows the login page of UiPath Orchestrator. At the top, it says "Ui Orchestrator". Below that is a "Login" section. It indicates the user is logging in on the "Default" tenant, with a link to "Change". There are input fields for "Username or email *" (containing "admin") and "Password *". There is a "Remember me" checkbox which is checked, and a link for "Forgot your password?". A blue "LOGIN" button is at the bottom.

画面左下の “Machines” を選択し、右上の Add から Standard Machine を選択します。



Name に、デプロイした仮想マシンのホスト名を入力します。（今回は uipathar1）

Provision A Standard Machine

Name *
uipathar1

Description

CANCEL PROVISION

作成された Machine の右メニューから“Edit”を押下します。

NAME	DESCRIPTION	TYPE	INSTALLED VERSION
uipathar1		Standard	No Robots

表示されたウィンドウから、Machine Key をコピーします。

Edit Machine u Copied to clipboard!

Machine key
0510d1db-8953-408f-be09-352ca84b0341

Name *
uipathar1

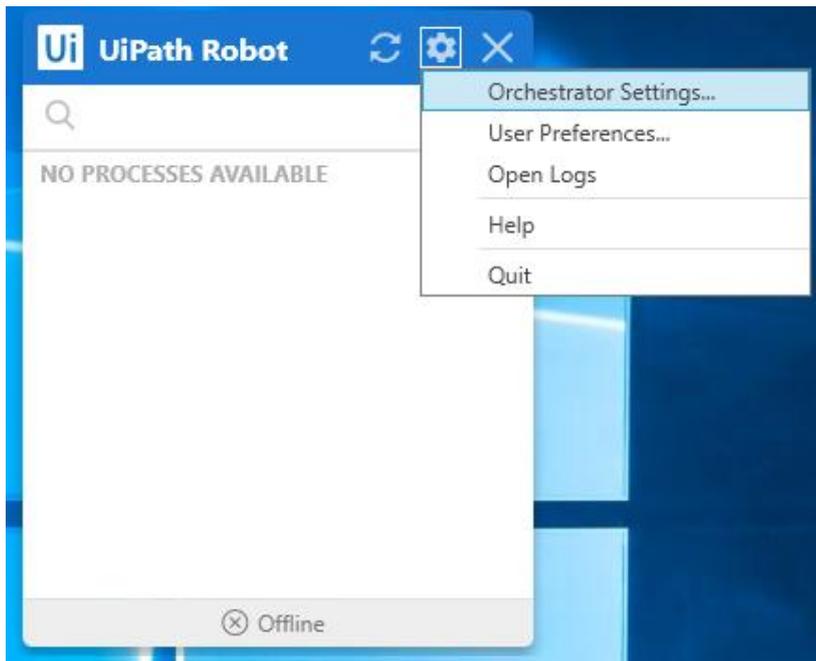
Description

CANCEL UPDATE

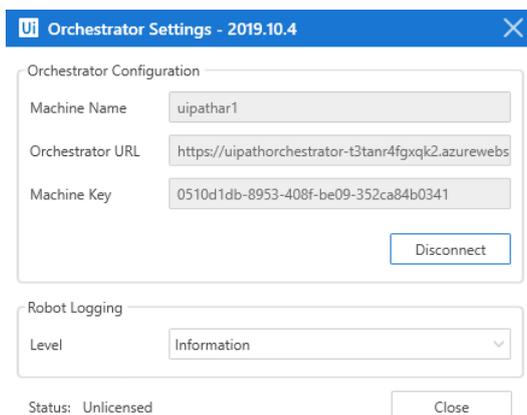
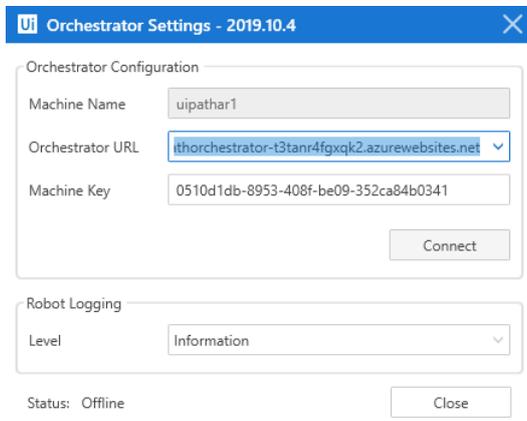
続いて、デプロイした仮想マシンのデスクトップを開き、タスクトレイにあるロボットトレイを開きます。



右上の歯車マークから、“Orchestrator Settings” を開きます。



コピーした Machine Key と Orchestrator URL を入力し、“Connect” を押下。
Status が Unlicensed になることを確認します。

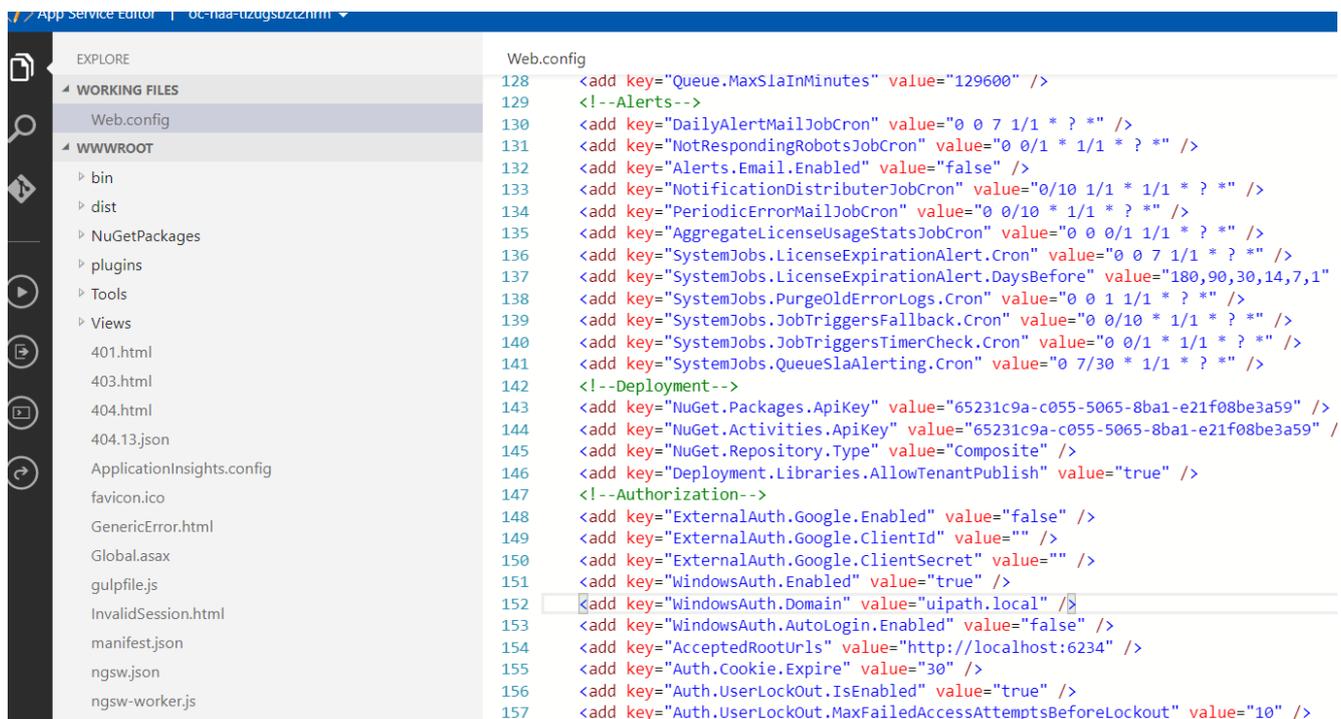


Orchestrator 上で Robot を作成することで、Status が Connected, licensed となります。

7. Tips (Web.config の編集方法)

WindowsAuthentication を有効化する方法

App Service Editor を利用します。



```

128 <add key="Queue.MaxSlaInMinutes" value="129600" />
129 <!--Alerts-->
130 <add key="DailyAlertMailJobCron" value="0 0 7 1/1 * ? *" />
131 <add key="NotRespondingRobotsJobCron" value="0 0/1 * 1/1 * ? *" />
132 <add key="Alerts.Email.Enabled" value="false" />
133 <add key="NotificationDistributerJobCron" value="0/10 1/1 * 1/1 * ? *" />
134 <add key="PeriodicErrorMailJobCron" value="0 0/10 * 1/1 * ? *" />
135 <add key="AggregateLicenseUsageStatsJobCron" value="0 0 0/1 1/1 * ? *" />
136 <add key="SystemJobs.LicenseExpirationAlert.Cron" value="0 0 7 1/1 * ? *" />
137 <add key="SystemJobs.LicenseExpirationAlert.DaysBefore" value="180,90,30,14,7,1" />
138 <add key="SystemJobs.PurgeOldErrorLogs.Cron" value="0 0 1 1/1 * ? *" />
139 <add key="SystemJobs.JobTriggersFallback.Cron" value="0 0/10 * 1/1 * ? *" />
140 <add key="SystemJobs.JobTriggersTimerCheck.Cron" value="0 0/1 * 1/1 * ? *" />
141 <add key="SystemJobs.QueueSlaAlerting.Cron" value="0 7/30 * 1/1 * ? *" />
142 <!--Deployment-->
143 <add key="NuGet.Packages.ApiKey" value="65231c9a-c055-5065-8ba1-e21f08be3a59" />
144 <add key="NuGet.Activities.ApiKey" value="65231c9a-c055-5065-8ba1-e21f08be3a59" />
145 <add key="NuGet.Repository.Type" value="Composite" />
146 <add key="Deployment.Libraries.AllowTenantPublish" value="true" />
147 <!--Authorization-->
148 <add key="ExternalAuth.Google.Enabled" value="false" />
149 <add key="ExternalAuth.Google.ClientId" value="" />
150 <add key="ExternalAuth.Google.ClientSecret" value="" />
151 <add key="WindowsAuth.Enabled" value="true" />
152 <add key="WindowsAuth.Domain" value="uipath.local" />
153 <add key="WindowsAuth.AutoLogin.Enabled" value="false" />
154 <add key="AcceptedRootUrls" value="http://localhost:6234" />
155 <add key="Auth.Cookie.Expire" value="30" />
156 <add key="Auth.UserLockOut.IsEnabled" value="true" />
157 <add key="Auth.UserLockOut.MaxFailedAccessAttemptsBeforeLockout" value="10" />

```

下記の様に加筆修正します。

```

<add key="WindowsAuth.Enabled" value="true" />
<add key="WindowsAuth.Domain" value="uipath.local" />

```

※AD グループが属している Windows ドメインを “WindowsAuth.Domain” パラメーターに入力します。

AppService “再起動” を実行します。

Ui Orchestrator

Login

 You are logging in on tenant **host**. [Change](#)

Username or email *

Password *



Remember me

[Forgot your password?](#)

LOGIN

You can also login with:



Windows

Window 認証のアイコンがログイン画面に表示されている事を確認します。